



「胞山」(ほうざんのきらめき) 題字・画：林彰

本日の例会プログラム

1. 開会点鐘
2. 国歌斉唱
3. ソング＝「奉仕の理想」
4. ゲスト、ビジターの紹介
5. 食事と交歓
6. 10月のお祝い・皆出席表彰
7. 雑誌の紹介
8. 出席報告、ニコボックス発表、委員会報告、幹事報告
9. 会長の時間
10. 卓話「青邨さんってどんな人」伊藤 昇 元パスト会長
／社会奉仕委員会担当
11. 閉会点鐘

中津川RC委員会行事予定

10月26日(木) 18:30～
第2回 IDM 「更科」 / IDM委員会

今後のお知らせ

- ◎10月7日(土)～11月5日(日) 創立60周年記念事業 特別展 「ふるさと中津川の先人～前田青邨」の開催
- ◎10月14日(土) 地区大会 伊賀市文化センター
- ◎10月22日(日) 中津川4クラブ親睦ゴルフコンパ
ユージュリー中津川ゴルフクラブ 8:30
- ◎12月 2日(土) 岐阜東農グループIM
多治見市産業文化センター
- ◎12月 5日(火) 中津川4クラブ会長幹事会議
ホスト：中津川JC

今後の例会予定

- 10月19日＝職場訪問例会 恵那眼鏡工業株訪問
12:00～12:40 ドライブイン「元起」(苗木)
にて食事 移動 13:00 移動後、開会点鐘
／職業奉仕委員会担当
- 26日＝普通例会 / 情報・研修委員会担当
- 11月 2日＝10月29日(日)
ふるさとじまん祭菓子祭りに移動
- 9日＝5日(日) 秋の中山道六斎市に移動
- 16日＝普通例会 卓話 村橋 元PG
「米山奨学50周年」 / 米山奨学委員会
- 23日＝法定休日
- 30日＝普通例会 卓話 洋画家 笠木 茂氏
「青邨先生が目指されたもの」
／地域活動委員会

会長の時間 林 彰会長

ご来賓の皆様、そしてご来場の皆様、こちら遠山資料館に朝早くからお出掛け頂きまして、ありがとうございます。今日から「ふるさと中津川の先人 前田青邨」展が始まります。前田青邨生誕132年目を迎えます。それは、明治維新が150年前ですので、ずいぶん昔と言いますか、遠い中津川の事となりつつあります。

今、有識者によって「収集」「調査研究」が大いに進んでいます。皆さんにもう一度記憶してもらいたいと思います。

画伯と中津川のご縁は、大きな『三つの時』があります。・中津川で生まれ16歳まで過ごした少年期、(約120年くらい前のこと) (明治34年頃)その年に、上京し画業に入っていくわけです。さらに歳を重ねまして、60歳あたりで中津川へ疎開してまいります。そして、終戦を迎えます。(昭和19年)そして、70歳を超えてまいります。文化勲章、名誉市民1号となり故郷中津川に錦を飾ります。(昭和30年) 約60数年前のことでした。本日ここに青邨展は、この青邨画伯の絵画やスケッチ等を「公開」・「普及」しようと、中津川ロータリークラブの強い思いを持っての開催の運びとなりました。多くの関係者にご尽力をいただきました。

この後、展示会場にお進みいただきたいと思います。また、青少年に向けての取り組みは、前の大井教育長、そして、本多教育長に2年以上に渡り教育の中に取り組み事を、校長会を通して調整を頂いてまいりました。市内の700名を超える小学生・中学生には、この度の特別展や出前授業を通して学習を行います。

すでに、加子母中学、西小学校において、出前授業が行われました。学芸員の丁寧なわかり易い授業で、生徒たちの意見発表するその目が輝いていました。私も授業参観に同席して、大変嬉しく思いました。

地域と共に私たちが、「中津川の記憶遺産」として青邨画伯を知り、その偉業を記憶し、誇りを持って伝える活動になれば幸いです。最後に、関係者のこれまでの準備に感謝を申し上げまして、開会の挨拶とします。

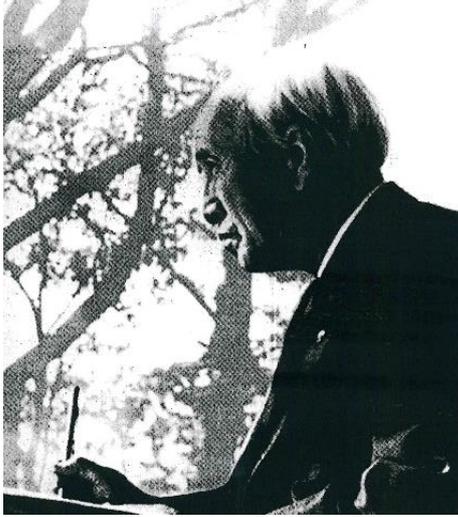
他クラブのご案内

中津川センター＝10月30日(月)→29日(日)へ移動
移動例会 ふるさと芸能文化発表会へ
恵那＝17日(火) 10:00点鐘 企業訪問
協和ダンボール

“青邨さんってどんな人？”

伊藤 昇

こんな質問に答え、幾度となくお目に掛かった姿や、ご家族の様子を、老体に鞭打って記憶を辿りお答えしたいと思います。



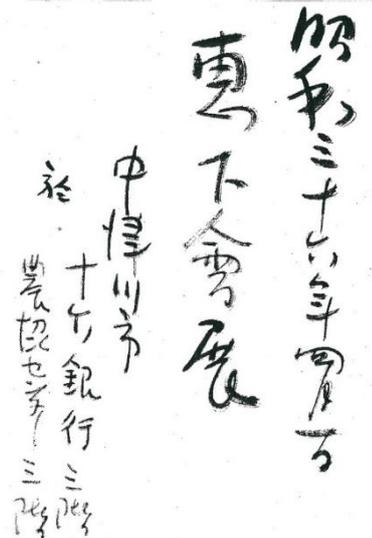
前田青邨画伯



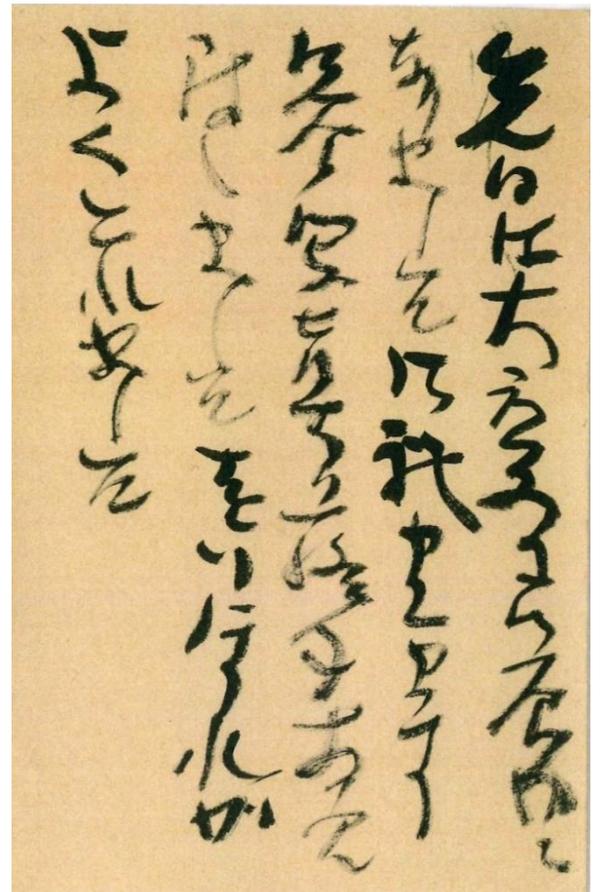
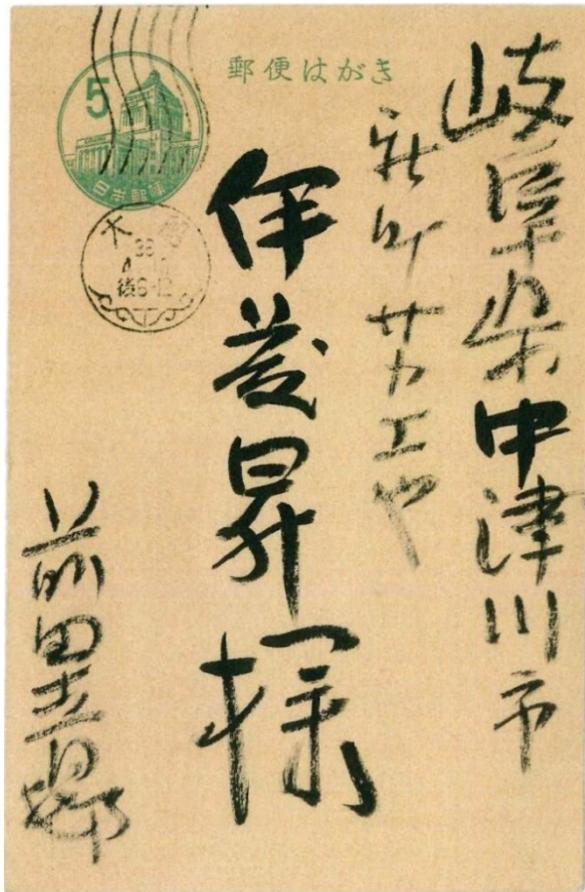
中津川 RC バナー



名誉会員 前田青邨による作品である。創立当時、初代会長間孔太郎氏はバナーの製作にあたり、当クラブの名誉会員である日本画界の至宝前田青邨画伯にこれを依頼することを発起し、その快諾を得て完成されたのがこのバナーである。凡そバナーとしては型破りのもので、東洋的な毛筆の豊円雄渾にして、しかも軽快なタッチで極めて簡約した図柄は雄峯恵那山とその前に起伏する前山、そしてその裾野に展やゆく中津川の街の一角を紫紺の生地に描き出して清楚な中に気品高い風格と躍進と脈打つ精気を表現し、益々発展することを象徴したものである。



青邨記念館建設（中津川 RC 主管）に対する、募金奉願帳の表紙。ご本人の直筆。



昭和36年（1961年）四ツ目川橋の中ほどで恵那山をスケッチしていた青邨さんを撮影され、贈られた写真に対するご本人からのお礼状。
「老いぼれがよくとれました」（後半2行）と書いてあります。

創立60周年記念事業
特別展「ふるさと中津川の先人 前田青邨」



主催者あいさつ
林 彰会長



ご来賓祝辞
青山 節児市長



ご来賓祝辞
勝野安和副会頭



ご来賓祝辞
本多弘尚教育長



助成金の受託
谷口勇敬支店長



式典司会
前野求重委員長



十六地域振興財団
(代理：十六銀行中津川市支店長)
谷口勇敬様

中津川市議会・議長
大堀壽延様

中津川RC
林 彰会長

南小学校生徒代表
山田杏夏さん

中津川市長
青山節児様

中津川市教育委員会・教育長
本多弘尚様



特別展 新聞掲載記事

中日新聞 10月8日朝刊

市内初公開「祭礼」
青邨の日本画30点
中津川で特別展
中津川市出身の日本
画家前田青邨（一八八
五〜一九七七年）の作

品や横顔を紹介する特
別展が七日、市苗木遠
山史料館で始まった。
中津川ロータリークラ
ブ（RC）が創立六十
周年記念事業として開
いた。史料館前であつた式

典には約百
人が集ま
り、中津川
RCの林彰
会長は「偉
業を地元の
青少年に伝
えたい、と
の強い思い
をもって企
画した」と
あいさつ。

期間中、市内の小中
学校のうち十四校が見
学に訪れる。学芸員に
よる出前授業もある。
特別展は十一月五日ま
で。祝日を除く月曜休
館（十日は休館）。
（福本雅則）



前田青邨の作品に見入る人たち＝中津川市苗木の市苗木遠山史料館で



新事務局員のご紹介

名 前：今井 智子さん（いまい ともこ）
住まい：中津川市中津川上金（名古屋市出身）
趣 味：お茶（師匠 市川尚樹）、卓球、テニス
ひとこと：仕事を早く覚えて、一生懸命がんばりますので、
どうぞよろしくお願ひいたします。

10月のお祝い

- 大鋸伸行君 ご夫妻・・・13日
- 桂川邦俊君 〃・・・16日
- 土屋大二郎君 〃・・・18日
- 山本 亮君 〃・・・19日
- 大堀壽延君 〃・・・20日
- 鈴木嘉進君 〃・・・20日
- 糸井川均君 〃・・・29日

皆出席表彰

原 眞平君…18年

前回の記録 ～10月7日～

ホームクラブ 出席率	42/70	60.00%
9/28 補正出席率	54/70	77.14%

会員総数75名、出席免除者5名

出席報告

10月のBGM紹介



『原子心母』 ピンク・フロイド
1970年に発表されたピンク・フロイドのスタジオ・アルバム。ヒプノシスによる牛のジャケットも有名。ピンク・フロイドの本作は全英初登場1位、全米55位を記録するなど各国でヒットした。それまでの彼らのアルバムは、どちらかと言うとアンダーグラウンドで難解な実験音楽的要素が強かったが本作では分かり易く聴きやすい内容になっている。このことがシド・バレット脱退後のバンドに初めて商業的、音楽的成功をもたらすことになる。

ロータリーレートのお知らせ
2017年10月は 1ドル=112円になります。(9月は109円)

友愛の席 松月堂 栗きんとんどらやき
ふんわりと焼き上げた皮で、栗きんとんを包みました。絶妙な味わいのどらやきです。

